

福島第一原子力発電所廃炉作業の 後方支援としての役割も担っています

- 現在、福島第一の廃炉作業で、港湾内の放射性物質の拡散防止策として、海底に被覆材※を敷く工事を行っています。当所では、事前の準備工事から物揚場への被覆材を製造するプラントの設置、被覆材の製造などを行っており、専用の船に積み込んで福島第一へ送り出しています。
- また、組み立て式のフランジ型タンクからの漏えい防止対策として、タンク底部の接続面を補修する計画があり、当所にある同型のタンクで作業員のトレーニングを兼ねた確証試験を行っています。福島第一での実作業時に作業員が安全・確実に作業ができるよう、事前に危険な箇所やその対策について当所所員と作業員とで相互に確認し、作業手順に反映しています。
- このように、当所は、福島第一の廃炉作業の一端も担っています。

※被覆材：粘土・砂等に、淡水・海水等を混ぜて泥状にしたもの



当所構内（物揚場）の被覆材の製造プラント



被覆材を船に積み込んでいる様子



タンク底部の接続面を補修する装置



確証試験を行っている
フランジ型タンク